



まちのできごと

6/17 雄武小学校運動会 協力して優勝へ

雄武小学校の運動会が開催され、グラウンドには子どもたちの元気な声が響きました。5、6年生合同の「魔法のじゅうたん」では、じゅうたんに見立てたブルーシートの上に子どもたちが乗り、掛け声と共にジャンプし、その間にシートを引っ張って進むという競技。子どもたちが一生懸命練習してきた競技で熱戦が繰り広げられ、観客席からも大きな声援が送られていました。



↑ 5・6年生合同競技「魔法のじゅうたん」の様子

↓ 左から碓一寿町長、中川原秀樹町長、菊池博村長 処理施設共同整備事業の実施に



6/2 汚水処理施設共同整備事業調印式 新たな施設を建設へ

汲み取りで集めたし尿や浄化槽汚泥を、下水と共に処理できるようにする前処理施設を共同で新設するための調印式が雄武町役場で行われました。現在、興部町で運営されている施設が老朽化のために廃止される事を受けて、興部町、西興部村と協力して雄武町に新施設を建設することで合意。新施設は国の補助金も活用し、2019年度より着工され、2021年度の供用開始を目指します。

↓ 見事なダンスを披露したファイターズガールとYOSAKOIチーム



6/25 第39回おうむ産業観光まつり 雨の中での開催

雄武町最大のイベント「おうむ産業観光まつり」がふるさと100メモリアル広場で開催されました。前夜祭、本祭共に、雨が降りしきる中の開催となりましたが、多くの来場者が雄武の特産品を買い求めたり、よさこいチームの演舞を見たりと、イベントを楽しんでいました。特に本祭で行われたファイターズガール×YOSAKOIソーランコラボ企画では、ステージ前に多くの人が集まり、圧倒的なダンスに観客からは大きな拍手が贈られていました。

6/8 芸術鑑賞会 巧みな話術で大笑い

中高、一般向けの芸術鑑賞会が雄武町民センターで開催されました。今回の内容は落語で、五代目桂文枝の弟子である、二代目桂枝光さんと六代目桂文枝の弟子である桂三段さんが来町。枝光さんは「落語と聞いて堅苦く感じるかもしれないが、楽しく聞いてほしい」と話し、扇子やタオルを使った芸や、なぞかけなどを披露しました。会場からは巧みな話術や芸に、大きな笑い拍手が起こっていました。



↑ 会場を爆笑の渦に包みこんだ桂枝光さん

↓ 豆つかみゲームで対決する様子



6/10 世代交流会 ふれあいで交流深める

子どもたちとお年寄りが、交流を深め合う世代交流会が風の子児童センターで開催されました。子どもたちは長寿クラブ会員の4人と一緒に花植えや、豆を箸でつかみ別の皿に移すゲームなどで盛り上がった後、全員でお茶やおやつを食べながら交流を深めました。小林大也くん（雄武小6年）は「花の植え方を丁寧に教えてくれたり、ゲームで対決できてとても楽しかった。」と嬉しそうに話してくれました。

6/20 雄武高校模擬投票 一票の大切さを学ぶ

選挙権が18歳以上に引き下げられ、高校生も選挙に参加できるようになったことを受けて、選挙についての授業が今年も雄武町役場で開かれました。生徒たちは、選挙制度について学習をした後、選挙管理委員会が用意した架空候補者の中から、実際に使用されている投票箱を使用し、模擬投票を行いました。実際に投票を体験した前田悠太さんは「投票を体験できてよかった、選挙があったらしっかり投票に行きたい」と話していました。



↑ 自分の一票を大切に持つ生徒

↓ 中川原町長（左）と握手を交わす片川さん（右）



6/21 インターハイ出場報告 全国の舞台で活躍を

旭川市で行われた高体連陸上競技選手権大会男子（やり投げ）で優秀な成績を収め、見事北海道代表として全国高等学校総合体育大会（インターハイ）に出場が決まった片川志遠さん（雄武高校3年）が出場報告に雄武町役場を訪れました。片川さんは中川原町長とがっちり握手を交わし「毎日の練習の成果を発揮して決勝まで進めるように頑張りたい」と力強く話しました。大会は7月28日から山形で開催される予定です。